

# 公演を終えて

私は「子どもオペラ学校」の集大成として、第8回、第9回に参加しました。

この2回を通して、たくさんの仲間に出会い、素晴らしい、充実した時間を過ごすことができました。

今までと授業の進め方が違うところもあり、少し戸惑う部分もありました。しかし、先生方の熱心な指導に変わりはなく、自分らしくやることができました。

そして、本番の公演では、仲間たちと先生方、スタッフの皆さんと作り上げた最高の舞台になりました。約5年間、日立市のオペラ事業に参加できてとても楽しかったです。



岩田 朋佳

私は、今年が初めてだったので、最初の合宿のときは、友達ができるかすごく不安でした。でも、みんな明るくて、すぐ仲良くなれたのでうれしかったです。練習では、先生方が時には優しく、時には厳しく指導してくださったので、楽しく歌うことができました。本番の日、少しきんちょうしてたけど、みんな楽屋でふつうにしゃべったりしたので楽しくオペラをやることができました。来年は中学生になるから、部活や勉強でいそがしくなるけど、ぜひ来年も参加したいです。



佐藤 咲楽

発表前日、友達が手紙をくれた。「自信を持って!」「笑って!」と私を勇気づける言葉だった。

当日、客席は満員。童子2を精一杯がんばろうと思った。舞台上には、私のように初めての人も、最後の人もいた。みんな今の力を出しきった。先生は、オペラでは意味があっってはじめて歌が出てくることを教えてくださった。なるほどと思った。

通い始めの頃は、練習が上手いかわず、気が重くなることもあったけど、友達と仲良くなり、歌も覚え、踊りが楽しいと感じる頃には、練習の日が待ち遠しくなっていた。来年もオペラ学校があったら、絶対にやりたい!と思う。



田村 郁美

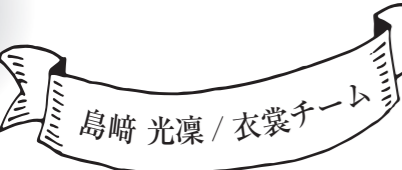
約半年間サポートスタッフとして参加して、子どもたちの変化を一番近くで感じる事が出来ました。

みんな初めは歌を覚えることに必死で、特に初参加の子たちは何度も楽譜を読み返していました。そして、配役決定試唱会に向けて、目の色を変え自分の希望する役の歌を練習していました。

私は本番当日、大蛇・怪物・手下・市民役としてステージに立った時、みんなの目が輝いて、今回のオペラ《魔笛》は生徒一人ひとりが輝ける舞台になったので良かったと感じました。次回もできるだけ参加したいと思います。



飯泉 奈央/OG



私は、5年間子どもオペラ学校に参加し、今回初めて衣裳チームに参加しました。今まで着ていた衣裳を実際に作ってみて、改めて衣裳作りの大変さと面白さを感じました。また、ずっと出演してきた子供オペラの舞台を、支える立場から見ること新しい発見もありました。私は、衣裳は、役者にとって大切なものであると同時に、お客さんにとっても、オペラを見る醍醐味の一つだと思っています。そんな衣裳作りに参加することが出来てとても楽しかったです。

## 子どもオペラ学校 ギャラリー展開催 過去の舞台にふたたび夢を追う!

7月11日から16日まで「第9回子どもオペラ学校」成果発表公演に先がけ、これまで公演した《ヘンゼルとグレーテル》《魔笛》のポスターや記録写真、衣裳、舞台セットなどのギャラリー展が開催されました。

アトリウムには《ヘンゼルとグレーテル》のお菓子の家も展示され、ドアをノックしたり中を覗いたりしている少女もいました。また《魔笛》に出てくる大蛇は、うろこをみなさんに貼っていただき、勇壮な姿で舞台に登場しました。

初めて子どもオペラ学校を知った人や卒業生から、これからの子どもオペラ学校への夢と期待の声が多く寄せられました。



多くのお客様にご来場いただきました!



《ヘンゼルとグレーテル》衣裳と道具



《魔笛》の大蛇を来場者のみなさんと完成させました!

## うたとお話で綴るオペラコンサート Part II が開催されました

10月15日(日)に日立シビックセンター第2音楽室で「うたとお話で綴るオペラコンサート Part II ~指揮者編~」が開催されました。「マエストロは名探偵」のテーマで、オペラの名曲のお話と演奏を皆様にお届けし、オペラの魅力を皆様に感じていただける素敵なコンサートになりました。出演者の皆さんからコメントが届きましたので、ご紹介します。



大浦 智弘 (お話・ピアノ)

1月のニューイヤーオペラコンサート(NYOC)以来、久々の日立シビックセンターでの出演となりました。今回は「うたとお話で綴る」ということで《マエストロは名探偵》と題して、作品の成立背景や作品の解釈などについて、探偵が事件を解明していくような設定でトークと演奏をさせていただきました。当日は多くのお客様にご来場頂き、地元で所縁のある三人のソリストと相棒として共演できたことは個人的にも大きな喜びでした。「オペラでまちづくりを」を合言葉に、2012年のNYOC以来、野外オペラ《マクベス》や子どもオペラ学校《ヘンゼルとグレーテル》、アトリウムコンサート等と関わらせて頂いておりますが、今回が皆様により身近にオペラを感じて頂ける機会となったのではと思っております。これまで、謎のこうもり男爵、オペラ・ソムリエ、NYOC 放送アナウンサー...と変身してきましたが、次は何に変身しようかな...と思案しております(笑)



薄井 美伽 (ソプラノ)

今回、私の原点であるシビックセンターでの演奏の機会を頂いたこと、本当に嬉しく思います。ご来場くださった皆様、大浦先生はじめ共演者の皆様、そして沢山のスタッフの方々のおかげで、無事終演することが出来ました。普段のホールよりも、お客様に近い距離で演奏出来る貴重な機会を頂けて、私自身大変勉強になりました。今回のコンサートを通して、1人でも多くの方が、オペラを身近に感じてくだされば嬉しいです。

子どもオペラ学校で初めてソロを歌い、オペラの素晴らしさに感動し、声楽の道を志してから10年が経ちました。現在やっと、歌い手としてスタート地点に立とうとしています。やはりひと握りのこの世界、挫折しそうな時もあります。けれど、今回温かく迎えてくださった日立の方々の想いを胸に、まだまだ未熟ではありますが、いつかまたこの日立の舞台に帰って来れることを目標に、より一層精進したいと思っております。今回は素敵な機会をありがとうございました。



中島 愛恵 (メゾ・ソプラノ)

今回この様な機会を頂き、本当にありがとうございました。地元茨城で演奏活動をしていくことは私の大きな目標のひとつでした。本当に幸せな時間でした。また、日立の「オペラでまちづくりを!」という活動は前々からとても素敵だなあと見ておりましたので、この様な形で参加させて頂き、シビックセンターの皆様はじめボランティアでご協力くださいました皆様、聴きにお越しくくださった皆様、とても温かく迎えてくださり心から感謝申し上げます。

想いが人と人の繋がりを、文化を、街を創っていくんだなあと、キラキラしたエネルギーを沢山頂きました。そんな日立が大好きです◎

本当にありがとうございました!



佐藤 千洋 (ヴァイオリン)

この度「うたとお話で綴るオペラコンサート」にヴァイオリンで出演させて頂きました。通常のオペラコンサートとは少し違う、演奏とお話を交えながらお聴き頂くことで、オペラの魅力や楽しさをお客さまにお届けできたなら幸せです。私自身も楽しんで演奏させて頂いたのはもちろんですが、今回のコンサートで改めてオペラの奥深さや魅力を感じ、より好きになりました。また、今回マエストロの相棒という役で初めてのMCにも挑戦し、貴重な経験をさせて頂きました。これからもたくさんの方にオペラを楽しんで頂けたら嬉しいです。小さな頃からお世話になっている日立シビックセンターでこうして演奏させて頂き、懐かしさと幸せな気持ちでいっぱいでした。最後にはありますが、共演者の皆様、コンサートに関わってくださった皆様に心から感謝申し上げます。当日はあいにくの雨の中、たくさんのお客様にご来場頂きまして本当にありがとうございました。

## オペラ鑑賞ツアーにてオペレッタ《こうもり》を堪能

10月25日(水)に、ハンガリー国立歌劇場オペレッタ《こうもり》の鑑賞ツアーが開催されました。今回、ひたち市民会館友の会と共催で45名の方に参加いただき、会場である県民文化センターへ。開演前には、茨城大学名誉教授の臼井英男氏による、オペラをより楽しむためのお話があり、公演を楽しむ準備は万端です。

オペレッタである《こうもり》は笑いの要素がたくさん入った楽しいオペラです。その笑いの要素は物語が進むにつれて強くなっていき、3幕では看守のフロッシュの今回の公演のために覚えたであろう日本語のアドリブも飛び出し、会場からは爆笑が起っていました。3幕通して楽しく鑑賞したツアー一行は、余韻に浸りながら帰路につきました。

